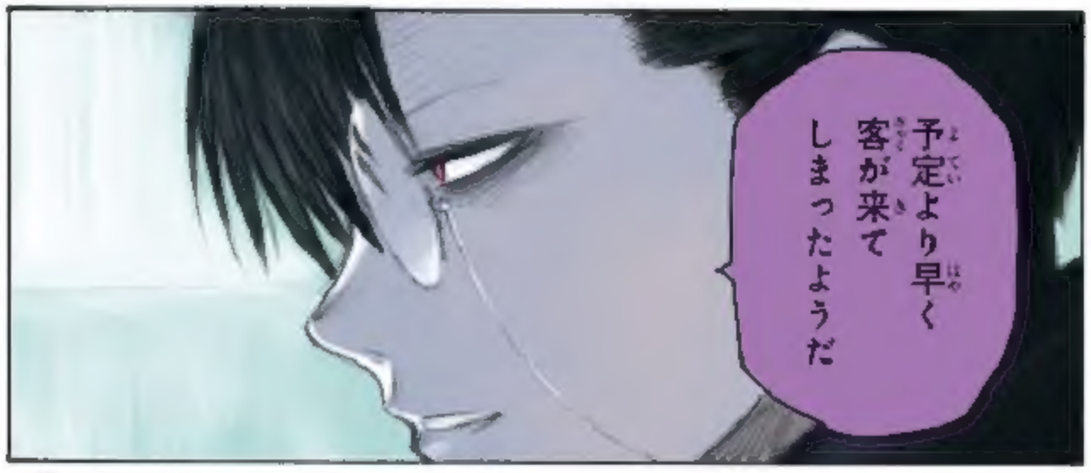
5

5

ピピピ
ゴオオオ
悪いが詳しい事を話している時間がたった今 無くなった
俺にまたコイツをどうしろって言うんだ？
それで？


予定より早く客が来てしまったようだ

第21話♠逃亡中のラーメンはチェゲでマジ

小玉有起

ブラッドラッド

第21話♠逃亡中のラーメンはチェゲでマジ

小玉有起

ブラッドラッド

CONTENTS

第21話♠逃亡中のラーメンはチェゲでマジ…001
第22話♠ふたりはトレジャー…039
第23話♠スクエアダイバー…073
第24話♠パンツァーバーニング…107
第25話♠メガネの罪…141

リンゴーン リンゴーン リンゴーン

カチ カチ カチ カチ

そんなに押すな！壊れるだろ！

っせえ!!

アンタの兄貴が出ねえのが悪いんだよ

オイコラ変態メガネ!! 居んのはわかってんだ

出てこねーと可愛い妹がどーなっても知らねーぞ!!

シャー

人質みたいに言うな！

じゃーテメェで出せ！っつうか中に通せよ！

やだ

ガチャ

やれやれ

相変わらずだなベロス

知らばっくれてんじゃねーよ

いったい何の用だい？

いいから黙ってここ開けやがれ

リズも一緒かい？

兄様開けちゃ駄目!!

コイツは兄様をゴモ△○×…

早くしな！

ああ今ロックを外したリズを放してやってくれ

ゴゴゴ

さぁどうぞ中へ…

コポポ
丁度今
お茶を淹れて
いた所でね
君もどうだい？
特製のハーブティー
なんだけど
……
黙ってコソコソ
一人で帰って
ハーブティー
作ってたってか
ああ…下で
いいブレンドが
見つかってね
早く試して
みたくてさ
すっとぼけんのも
いい加減にしろよ
テメエ
手続き無しの
殿堂入りは犯罪だ
茶ぁ飲みたいだけで
それを犯すバカが
どこに居んだよ
価値観は
人それぞれ…
という事かな

ヨユーこいてられんのも
今の内だぜ
アタシの特権…
負け犬の首輪は
ほざいてろ
何処までも
お前に憑きまとう
呪いだ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

君に
飼われるなら
悪くはないな

パァン

さぁ散歩に
連れて行って
くれ

フッ

そのために
ここに
来たんだろ？

……

……兄様…

ああリズ

私は少し
出かけてくるよ

…ごめんなさい
私…

兄様のいいつけを…

こんな事に
なるなんて…

いいんだよリズ

時間稼ぎは
出来なくても
留守番くらいは
出来るだろ？

じゃあねリズ
いい子に
してるんだよ

ポン
ポン

ギュ

闇雲にアッ探んでっけど
本当にこっちで
いいのか？
知らない土地で
だんだん不安に
なってきたぜ
何見てんだよ
ビルルルル
……うん
冬実の
居場所
わかったのか!?
リズか!?
バッ

……まだ
何だよ
お前また
泣いてんのか？

…泣いてない！
泣いてんじゃねーか

今何処だ？
一人か？
うん…
お屋敷に居る
兄貴はどうした？
……
兄様は…
私が戻った
せいで…

捕まった!?

はあ!?

それじゃ多実の
酵生はおろか
探索も出来ねー
じゃねーか!!

うぅん
探索は出来る
水晶で
今見てるの

でも…

わかんないの!

真っ暗で
観測出来ない
所に居る!!

どういう
事だよそりゃ…

おいお前!

ヨソ者のクセに
ヨォ!!

お?
ん?
あ?

何ドゥードゥーと
道の真ン中で
ペチャくってるワケ!?

困るワケ!!
そーゆーの!!
マジ!!

リズ…とりあえず
何かわかったらまた
連絡くれ

泣いてない!

後お前は何も
悪くねぇから
もう泣くな

またな

じゃーな俺はこれからセンセーシ!!

モシモ――

オォ!? 剛だ?
モシモシ終了!?

モシモ――シ

あ!? 聞こえねーなぁー!!

お前
この男知らねーか

探してんだ

いえ、すいません
見た事ないです

そうか

あっでもボスなら…
知ってるかも！

あの人情報通
だし!! マジ!!

俺案内するし!!
全然するし
そういうの!!

おーしじゃあ
しろ

コッチだし!!

言っとくけど
俺の事ハメよーと
したら次は
アッ殺すかんな

間違えた!!
やっぱコッチ
だったし!!

俺ってば
マジ!!

……

うおっ寒っ
何たこの中

ユッキー！

お客さん連れて
来たっスよ――!!

……え

何で？

イヤーこの人
困ってるみたい
なんで案内スス
100パー
マジ案内スス

……そうなの？

あーまぁ…
つうか来すぎだろ
どうなってんだよココ

カラカラ

あぁ寒いよねぇ
はらコタツ
入って入って
あったかいから

……

ごめんねぇ
僕 雪男だから
僕の周り寒いの
おーてむさむ…

自分も
寒いのかよ

アハハ！
バン バン

マジ
ウケルっしょ
ウチのボス

HEY

つつうか何で
お前は
来くねんだよ

で？ 困ってるって
今サバ夫から
聞いたけど

あ 自分
サバ夫ってあうんです

イコヨロ!!

鍋だ!!
鍋にしよう!!

ああ… この男を
探してるんだ

兄さんは？

ドッから来たの？
名前なんてーの？

心当たり
あるか？

あ!!
そうだ!!

イエエエイ

チエケナベィベエー!!

寒い時は鍋に
限るっしょ!! マジ!!

チゲ!!
そーと決まれば
チゲッしょ!!

シャー

どうだ？

うくくん

ああ
ああ！
知ってるよ
コノ子

ホントか!?

じゃあ
こいつ
何処行った
とかわかるか!?

うくくん
今 何処かは
わかんないけど

ボンヤリと
家は知ってるよ

家!?
この辺なのか!?

ガラッ

ただ
行くのは無理
だと思うよ

？

ディメイション街道

無数の扉で入り組む
魔界七不思議の一つ
にもなっている場所に
あるからさ

ボンヤリとって
言ったのはそこに
彼の家があるのは
知ってるけど

行った人や
見た人を
誰も知らない
からね

ただ
そこに彼が
帰ってくのは
確かだよ

何だよ
魔界七不思議
って…

要するに
あれか…

そこに
帰られたらもう
追跡できねぇ
みたいな

そういう
事…

ムニャ ムニャ

まだこの近くに
居ればいいけとね

ネル君

チェゲ

HEY

……

ネル君…？

お前
こいつの事
知ってんのか!?

…だから

知ってるって
言ったじゃない…

今、何処に
居るか
わかんないって
言っただけで

名乗も持ってるよ
たしかこの辺に…

僕
目悪くてね
あぁ あったあった

バッチリ知り合い
じゃねーか!!
顔見て呼われよ!!

彼
運び屋でね

不思議な力が
あるんだよね

……

これ……
マジかよ…

ま
問題無いっしょ～～～
ズルー
任務も9割くらい果たしたし
ラーメン
ほら腹が減っちゃ…何だその…何かが出来ないって言うしね
多幸ラーメン
ん――

食える時に食っとかなきゃ
ん？
つて事はあっちもお腹すいてる頃か
そうだ！
おじさん！ラーメンもう一個！
多幸
あいよ
さて…
居心地はどうかな？

柳冬実ちゃん

あいよ！
受験ラーメン
おまち！

味玉 受験
しといたよ!!

どーも

？

ズ

種も仕掛けも
ありません

！

うおおっ

何だい兄ちゃん 今の!! 手品?!

へへへ ビックリしましたか? これ僕の仕事道具で何でも…

困るよ ドンブリごと消されちゃー!!

ウチはドンブリには一切妥協してないんだから!! 弁償してもらうよ!

え

妥協して 100万!!

いや そんな バカな

払えねえってんなら妥協しねえで出るとこ出るぜ!!

ヌッ

わ わかったよ ドンブリは返すから

ヒョイ

ちょっと持ってて

ズッ

!

えぇぇぇっと

ガシィ

ちょっ離して

あっ! あブあブ! スープかかってる! かかってるから!

こ このヤロー!!

そっちがその気ならこっちだって妥協しない——

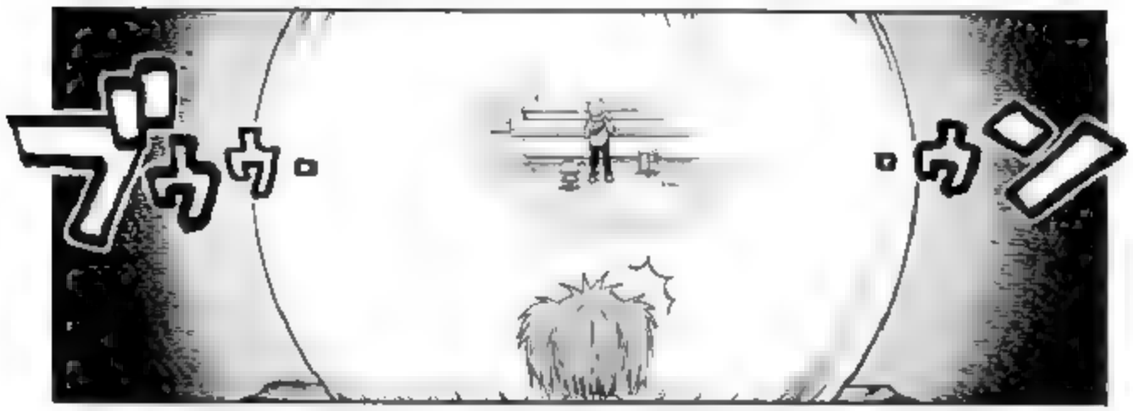
ぞ!!

!!
チリン
チリン

チリ…

何だ…
今のは…
ハァ
ハァ
ハァ

何をした…!?
ハァ
ハァ
ハァ


ブゥゥ…ウン

冬実…!

パタッ

あら

どうしたのベル

グッ グッ グッ

フユミンが呼んだ

ラーメン 多福

ビリリリ

もしもし…

ああ大丈夫…うまくいってる 心配ないよこれから戻る

大丈夫？

それはディメイションに入ってから言ってちょうだい

ガタッ

だから何よ

……何で

コイツが映るわけ…

あんた昨日から飲みすぎよー

こちら側にさえ入ってしまえば大丈夫…

そこで初めて大丈夫と言っていいの…

わかった？

早く母さんを安心させてちょうだい…

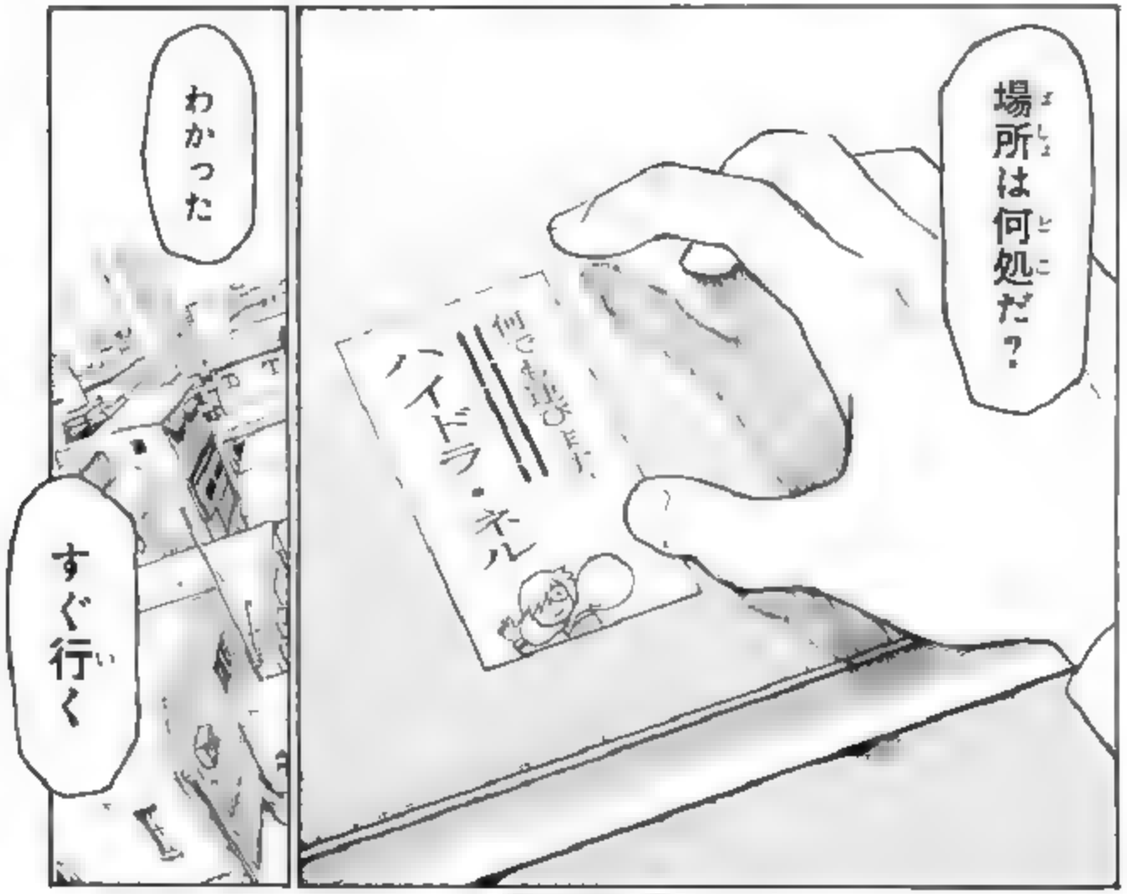
ネル…

ピッ

ああ…急ぐよ…じゃあ

ピルルルル
リズか？
スタズ!! わかった
冬実の場所!!
変な男が
映ってる
きっとコイツが・
ああコッチは
その男の正体を
つきとめたぜ

……
ぐうぐう
ピクッ


場所は何処だ？
何でも運び屋
ハイドラ・ネル
わかった
すぐ行く

第22話♠
ふたりはトレジャー

ダッ

まったく…

母さんも心配性だよなぁ…

トン

ニュク

あのベル

でもさっきの あれ…

まさかな…

ドドドドド

！

ズゥーーン

うおっ

とお！

……これは…

ちえっ

ひっかかると思ったのに

流石ー慣れてると敏感ってわけ？

！

ね…

ネーちゃ…

ズ…

ぎゃあああ

久しぶりねネル

おつおおお…

ガル ガル

相変わらずで安心したわ

……

僕もだよ姉ちゃん…

で？

誰に雇われたの？

はてきて

何のことやらサッパリ

知ってんだよ

あんたが運んでる物の事

チリリン

それは…！

わかった？

冬実ちゃんは私の知り合い勝手に手出しされちゃ困るの

だから

ドーユー事か姉ちゃんにちゃんと説明しな

……何だよ今さら

何回もメールしたんだぞ

本当は僕じゃなく姉ちゃんが適任だったんだ

はぁ？

これは仕事なんかじゃないただのおつかいだよ

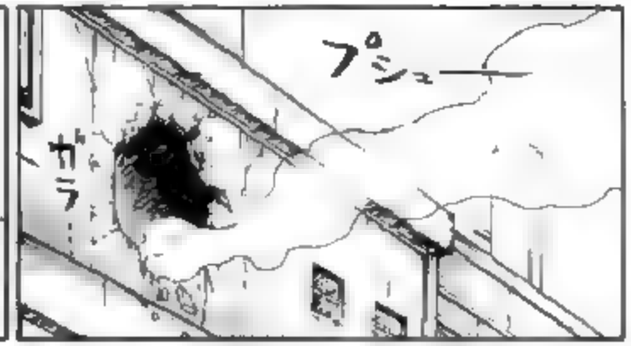
え…

それって…

ポンッ

母さん姉ちゃんの事むっちゃ怒ってたなぁ

ウソでしょ、なんでママがフユミンを！


プシュー
ガラ…

見つけたぞ
幽霊泥棒

連れ戻されたなんて言ったら
母さんどうするかな？

スタズ!?
あーあ
あっちも
超怒ってる

うぬぅ…
わかったわよ

ママンによろしくねネル

ガシャーン

テメェも
グルだったのかよ…

たった今
からね

お前
敵か味方か
ハッキリしろよ

敵なら容赦
しねえから

まった〜〜
せっかち
だねぇ

ああ!?

もーちっと
私にも迷う
猶予とか
くれって事

ズ…

縄は自分で
なんとかしな

ベル…

まぁ一時間
くらい迷っても

今の決断に
至っただろう
がね

何
訳わかんねぇ事
ゴチャゴチャ
言ってんだ

何で冬実を
攫ったんだよ

この場所
だけじゃねぇ

俺は
今お前が奴を
逃がした
場所も知ってるぜ

どうやら
ソコを経由
しねぇと行けない
らしいからな

……

そんなのコッチが
知りたいよ

私は
例のベルが
鳴ったから
来てみただけ

あんたこそ
何でこの場所が
わかったの？

今すぐ俺も送れ

利用されるのは好きじゃないの

言ったっしょ

OK？

じゃーねー

ズッ!!

ついて来れるもんならついて来な

ストッ

ん～～～

！

はー

あんたねぇ…

どんだけ鈍臭いのよ

姉ちゃんがキツく叱めすぎなんだよ！

ほら解いてやるからじっとしてな

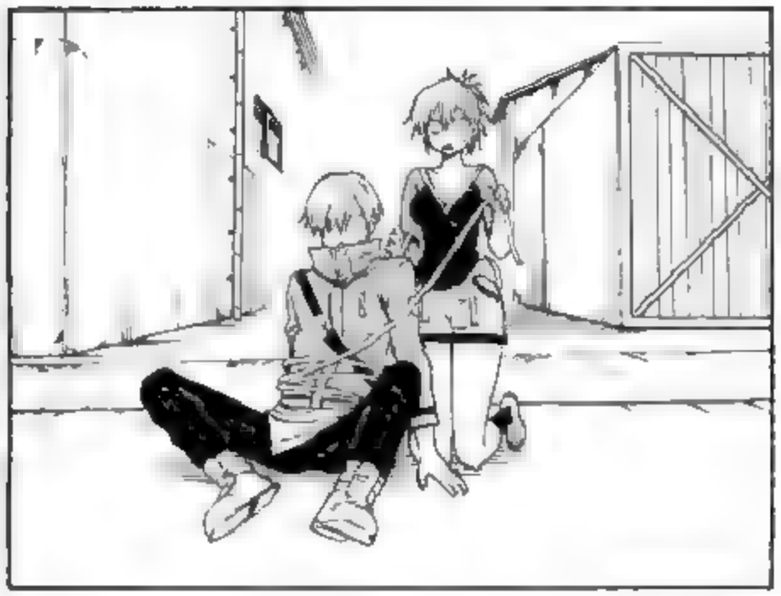
いたいいたい!!

うっさい!!

もっとやさしくしてよ！

ドドドドド

ドドドドド



よう

久(ひさ)しぶり

……

行きなネル

え…だって

今度は俺の番だ

通れるもんなら通ってみろよ

フユミシを撮った時アレで近寄ったんでしょ？

後は姉ちゃんにまかせてアレやりな

でもそれじゃ…

いいからやれっつの

……

ゲッ

わかったよ

ストン

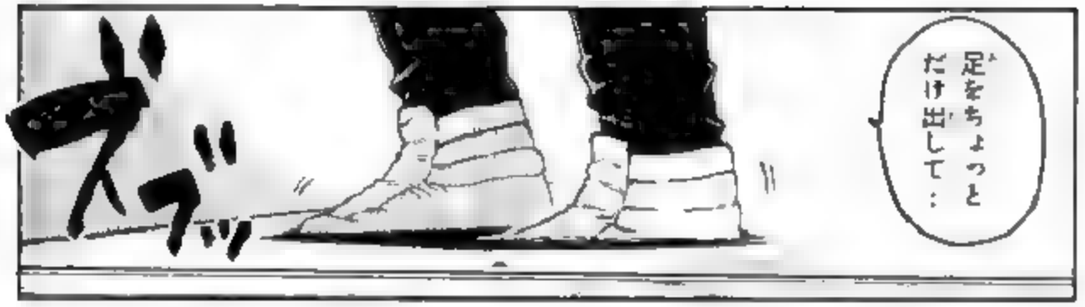
なるほど…

そーやって四次元ポケットみたいな布に未実を入れて運んでやがったのか

でも自分で入っちまってそっからとーすんだ？

別に？

さあ今がチャンスよ取りに来れば？


ズズッ
足をちょっとだけ出して：

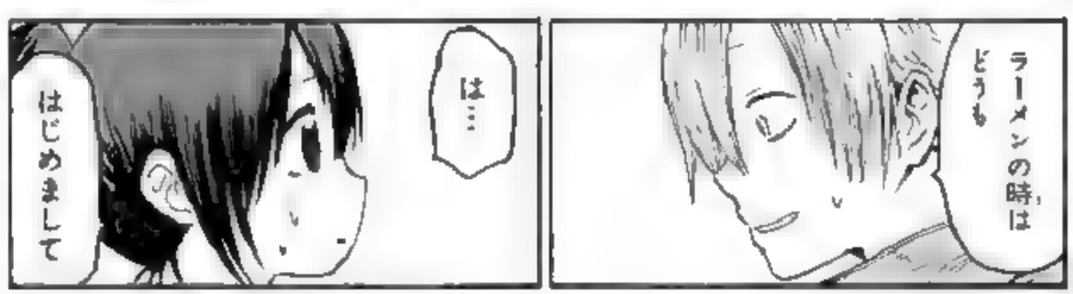
ほらどうしたのき
あげるって言ってんじゃん
重だろお前が持って来い

なっ
スウ

あっそならいいわ
じゃーねー
あっおい！

ちっくしょ

やあ


ラーメンの時はどうも
は…
はじめまして

そこ…動かないでね
あと出来れば今から僕がする事を見ないで
え…は…はい
この辺でいいか…

う…

おおおお――

ダダダダダダダ

スィ――ッ

何(なん)だ そりゃ

どらっ

ビターン

しゃーい

あり？

ちっ

今日(きょう)はよく はずす日だす

バッ

あたるかよ

そして逃がすかよ

ドドド

ドン
ゴッ
ッ
グッ
ああ…
音生…！
バッ
あらもう治ったの
でも見失っちゃった
……クソ
何でそこまで邪魔すんだよ
お前だって
このまま放って
置いたら冬実が
消えちまう事くらい
知ってんだろ!?
……

知ってるよ
でも
そんな事
私には
関係無い
あんたのせい
でしょ？
……
あの渡した
ベルは…
こんな時…
冬実を守る
ためだったんじゃ
ねぇのかよ
ええ
だから
今守ってる
じゃない？
あんたから

…兄貴は

冬実に発信機を入れていた

？

それが？

こうなる事を知ってやがったんだよ!!

お前が俺を止めんのも兄貴のシナリオ通りだ!!

頼むから目ぇ覚ませ!!

今からでも遅くねぇ

俺に冬実を取り戻させてくれ!!

ベル!!

……

……そんなに

あの子が大事…？

……やっぱり私じゃ……

冬実は俺の限定一点物だ!!

は？

わかるか!? あいつしか居ねえんだ

消えちまったらもう二度とGET出来ない!!

激レアだ!!

わかるだろ!?

トレジャーハンター!!

ゴッ

もういい

そんな風にあの子が大事なら

そんな風に私を見てるなら

それなら相応の手段で片つけましょ

完全に臨界点突破

ドドド

第23話♠スクエアダイバー

たとえばの話なんだが

この移動中になんらかの事故で車が転落したとする

ありえない

たとえばだよ

当然この首輪で君に魔力の使用を縛られている私は身を守る術が無い

何も出来ずただ車内でサンドバッグのように身を打たれるだろう

死にはしない ただ

私が吸血鬼であるという事だ

はあ？

ここで一つ問題が浮上する

吸血鬼の血は身体に受けたダメージを

自動的に修復するという特性を持っている

つまり自分の意思とは無関係に魔力を使用してしまう

そうすれば君の番犬の餌食だ

犬達はそれをGOサインと見て容赦無く噛みついてくるだろう

噛まれた体はそれを治しまた噛まれ…治す…

これを永久に繰り返す

私の命が尽きるまで…ね

だから何が言いてーんだよ

君の仕事は

私を無事送り届ける事だ

ドドドドド

もちろん生きたまま

この首輪は制御のために付けたんだろうが

その認識は大きな間違いだ

実は かすり傷一つで私を殺しかねないリスキーな拘束なんだよ

……脅してんのか？

変な気起こすんじゃねーぞ…

フフフ… 何もしないさ

ただ君に状況を伝えたかっただけさ

守ってくれるかい？

私を

ゴトン ゴトン ガタ…

いちいち気持ち悪いんだよテメェは!!

おいおいか弱い私に乱暴はやめてくれ

もうあっち向いてろ!! 変態メガネ!!

カチャ

ピッ

重空間NET

アナウンス

▶ディメイション

B.T.R-prison

ようこそ

ハイドラへ…

オオオオオ

案内するよ

あっ

え…あ

付いて来て

はい…でも…

ね、どうして
こんな 昨日就た
アニメみたいな所に
連れて来られたん
ですか？

その
スタスさんや
リエちゃんは、

ああそっか
その説明か
先だったね…

ドゴ

はあ ようやく
着いた…

Click Here

…という訳で

今 そのスタズに
追われてたのを
姉ちゃんが食い止めて
くれて ここに入れた

……

だから
こうして君を外に
出せたのさ

そうですか

やっぱり私
誘拐されてたんですね…

それで
スタズさんと
ベルさんが

僕や姉ちゃんも
握りたくて
握ったんじゃないよ…

ポリ

でも
スタズって奴…

まさか
追いついてくる
なんて思わな
かったよ

よっぽど君が
大事なんだな…

え…

あっ赤くなった

なってません!

なってるよ!
アハハ!!
可愛いなぁ

やめて
下さい!!

…でもあいつは

ここには来れ
ないし 君も
逃げれない

あのドアは
出るにも入るにも
ハイドラの者にしか
出来ないからね…

スタズさん…

……

さ
行くよ…

お前何か勘違いしてるぞ

俺達こんな事してる場合じゃ

うっさいこのオタク吸血鬼!!

勘違いしてんのはあんたでしょーが!!

だから何でお前がキレてんだよ!!

関モてんのは俺の方だっつうんだよ

だからかかって来いっつってんでしょこのオタ男!!

「まいった」するまで私のケツ殴りまくりたいんでしょ?

勝負よ…あんたが勝ったらフユミンの所へ逃れてってあげる

キキッ

…待て…

そのために弁丸取ったんでしょ?

だったら試してみな!

…

私に追いつけるか…

ボゴ

ォらぉ

ﾌﾜ

ﾌﾜ

くっ…

ﾌﾜ

ﾌﾜ

ガチャ

……何だよこれ…

どうなってんだ…

ワン…

！

な…

コツン

サイコロの中に…？

バババ

ドロ

ス……

こうなってんの

ズオ…

やっぱりあんたしや私に追いつけないか…

無駄無駄

それ今試して駄目だったっしょ

ドン ドン ドン

ガ

ほらうしろ

えーもうダウン？

俺のTシャツケンシロウみてんにしてくれてありがとよ…

何それ

あそうだ言い忘れてたけど

負けたらフユミンを諦めてもらって

一生私の奴隷になってもらっちゃうってどう？

ああいいぜ

負けねーし

そういうのは立ってから言いな

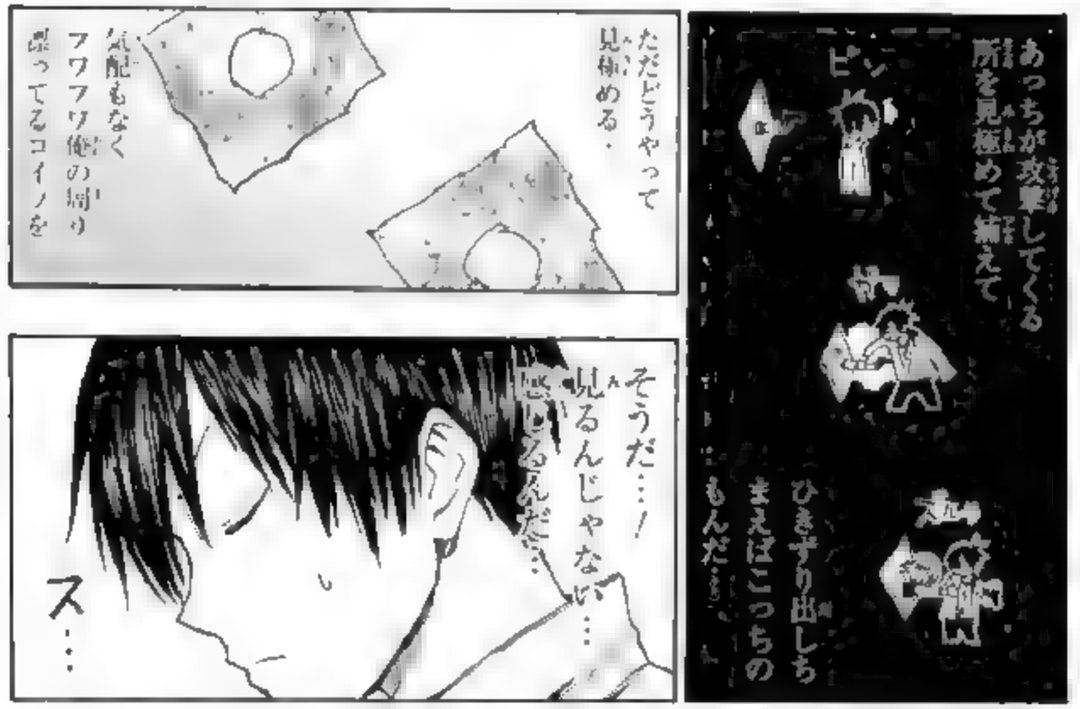
願だけ出してる奴に言われたくねんな

クラッカーの具かよテメェ

ちょっと違う武器とってくるわ

あついでにジュースも買ってきてくれよ

落ち着け俺・・さっきまで
瞬風通しが
良くなった脳で
冷静に考えろ・・・
まずこの
ぼいてんのにただ
攻撃しても
意味がねぇ


あっちが攻撃してくる
所を見極めて綺えて
ピン
ひきずり出しちまえばこっちのもんだ・・・
ただどうやって
見極める・
気配もなく
フワフワ俺の周り
漂ってるコイツを
そうだ・・・！
見るんじゃない・・・
感じるんだ・・・
ス・・・

ん？

何てこった・・
マンガで見た
通りだ・・
目をつぶる事で
こんなに研ぎ澄ま
されるなんて・・・
周りの音が
しなくなった・・・
すげえ静寂だ
フッ・・・クック・・・

アーハッハッハッ
ゲラ
ゲラ
何してんのよ
あんた
……
ここは…
そうか……！
ヒ～ッ
攻撃される事に
ぱっか警戒して
一番警戒しなきゃ
いけない事
忘れてたっしょ
自分が移動
させられちゃう事！
まさかこんな
簡単に入って
くれると
思わなかったよ

アハハ!!
ドロロロ
ドロロロ
ボヒ

ドゴォ

!

だから
無理だっつの

何回やれば
学ぶのよ

カね

あんたほんとに
バ…

もう身をもって
知ってるでしょ

とっとと
負けを認め
なさいな…

……

グリットルーム
に入れられたら
詰みだって

ほらこの前
みたいに

「まいった」
って…

残念ながら

ニィ…

俺はこの前の
俺じゃない
んでね

これ
魔力の具現化ってやつだろ？
お前も出来たんだな
まぁね～
俺も出来んだよ
実は
？
知ってるっつのさっきから何度も無駄に出してたっしょ
あーそうそう無駄だった…で確かめたい事があんだけど
これって
出したり消したり出来るけど今まだ消してないよな？
何が言いたいのよ見ればわかんしゃん
追いつめられておかしくなっちゃった。

いや俺のもまだ消してないから
実は
は？
ゴ…
は？

ちょっこれ…やだ

アッハッハッハッハッ

何(なに)してんのー!?

俺だってただ
黒魔の一つ覚え
みてぇに連発してた
わけじゃねぇぞ

学(まな)んでんだよ

ぐっ…

いいか？

お前(まえ)の敗因(はいん)は
俺(おれ)がパンチしか
出来(でき)ねぇアホだと
思(おも)ってた事(こと)と

自分(じぶん)のテリトリー
に連れ込んだ事で
油断(ゆだん)しまくってた
事だ

おしゃべりに夢中(むちゅう)で
俺(おれ)の魔力(まりょく)が
近づいてるのにも
気づかなかった

どうだ
「まいった」って
言ってみろ

ギャー…

うう

じゃないと
下半身(かはんしん)が
サヨナラ
しちゃうぜ

まい
「まいえ」

ゴゴゴゴ

あんたから逃げれば消せるのよ

！

チッ

ゴクン

ゴクン

待っ…

バッ

ズゴゴ

ズゴゴ

ズゴゴ

ガクッ

フワ…

フワ…

ニャウ…

……

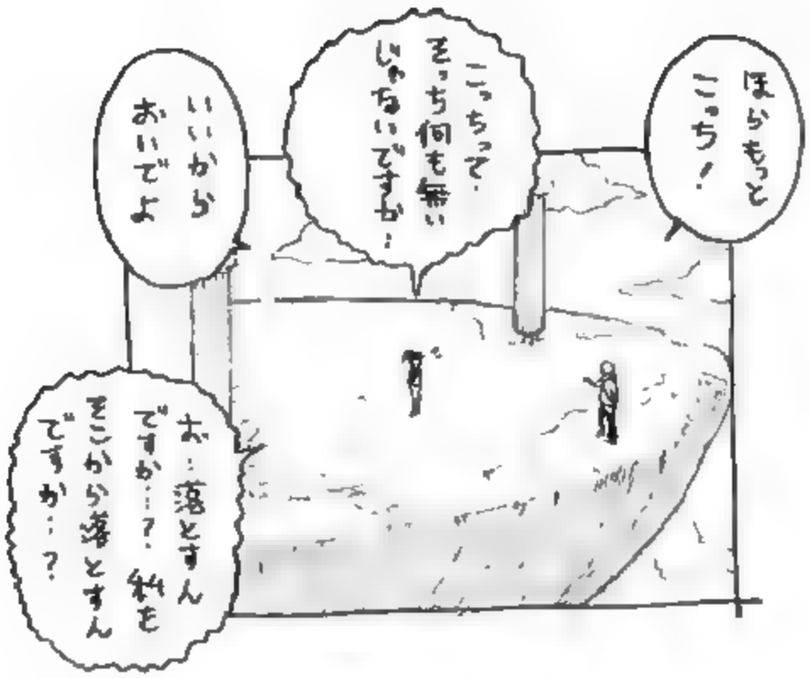
何だこれ…

スッ

ポト

か…
返(かえ)して…

……何(なに)を？


ほらもっと
こっち！
こっちって
そっち何も無い
いかないですか！
いいから
おいでよ
お…落とすん
ですか…？ 私を
そこから落とすん
ですか…？

第24話♠パンツァーバーニング

違うわよ変態!!
どんなコミック読んでんのよ変態!!
そういう日本のジョークなんだよ
ジョークで済むか!
っていうかその汚い物を持つよーな持ち方 萎えつくからやめて!!
ワンワン
あー
殺す!!
ブッ
ベロン
ハッ

ゴロゴロ
あぶなっ
……
やっぱりそうだ…おかしい
チッ

俺はコイツを拾った時

ラッキーこいつは使えるぜと思った

…変な意味じゃないぞ…

純粋に取引材料として…だ

イエ〜イこいつを返してほしければ「まいった」と言え…さもないと…

…的な事を…

実にカッコ悪いが俺はやるつもりでいた…

しかしすぐにそれは通用しない事に気づいた

……

答えは簡単だ

ベルはそんな俺をゴミを見るような目で見た後

空間移動で自室に戻ってゆっくり着替えてくればいい

そしてそのまま俺をここに放置しときゃいいんだ

……

マジでやらないでよかった…

こうしてとっさの頭の回転で悪しいピエロを回避した俺だが

悪しい事にその頭が回転したのはすべて回収した後だった

そんなちょっぴりピエロな俺にベルは言った

わかった話し合いましょスタズ

どういう事だ…こんな俺ほっといてさっさと逃げれば

まさか気づいてないのか？

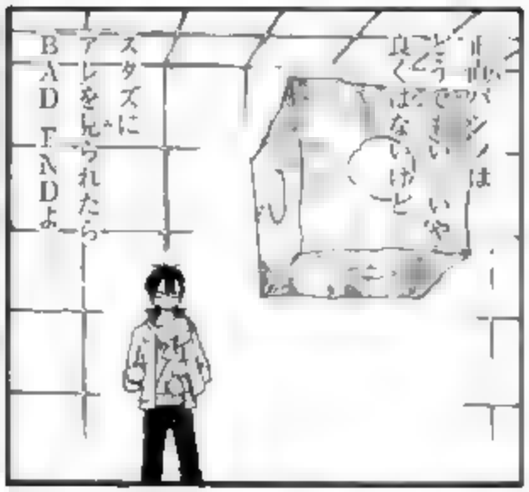
それともコイツがそんなにお気に入りのやつだったのか〜

実はすげえレア物か？これ…

わからねえが…じゃないと説明がつかねえ…

逃げるどころか
俺が何かやらかさないか
ソワソワして目が離せません
とばかりの

その表情(ひょうじょう)の



いや それだけで
済めばまだマシ…

その後
ホロ酔い気分で
記した作戦
『スタズ私に
メロメロ大作戦』
を読まれたらと
思うと
ああああああ
ああああああ
ああああああ

私 何であんなの
書いちゃったん
だろう!!

あああ
あああ

穴があったら
入って
6泊くらい
したい!!

とにかく
そこまで
見られたら
終わり

……

私の気持ちが
バレるだけでなく
確実に

さようなら

ご愛読ありがとう
ございました

完

……

……

―になっちゃううう

シィーン

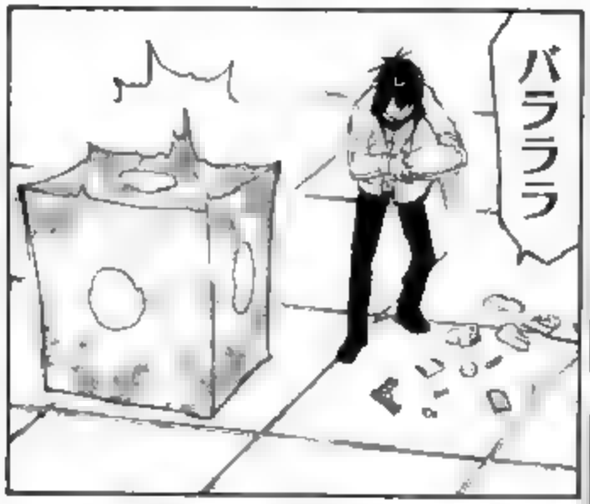
コイツは
この中にしまって
おこう

大事なもの
らしいからな
フフフ

たしっ

何だよ
何よ
放しなさいよ
お前こそ
放さないでいいのか？

ダメ——!!
何だお前 随分色んな物が…
ん？


バラララ

どれどれ
えええっと？

ドン

お前も学べよ

わっ

ドロロ

…なるほどな…

ようやく合点がいったぜ

ONIQLOの時といい…

お前のパンツ関係は常にブラフか

本命はこっちって訳だ

……

読んだら撃つ!!

知ってるだろ？俺の頭ブッ飛ばしても意味無ぇの

さぁ

こっち来て
一緒に見ようぜ

TREASURE NOTE

……

ごめん
なさい

ペラッ

何々？

うわ――
ちょ――!!

トレジャーノート
VOL5

マウンテン
登るつかれた。
あとお腹
グルグルで・

NO.163 グルメフラワー
（済…感想）

やめろ――!!

わかった!!
わかったから
それ以上やめて!!

何だほぼ
日記か これ

ドン
ドン
ドン

言う!! 言う言う
言うから!!

次のページ

ケプ

「まいった」するから!!

ズボ

よく言った

あ

あ

いや まっ…

ドドド

フラ
フラ

ちょっとあんた大丈夫？
大丈夫じゃねーよ
血が足りねぇよ
っつうか
お前がやったんだろが
だ…だって…

わかんねぇな
急にキレて勝負しかけてきたと思ったら
日記見られたくらいで「まいった」なんてよ…
お前変だぞ
ボリボリ

……
はあ？
あんたのせいでしょ
あ――
もーいいの!!
ほら大好きなフユミンを助けに行くんでしょ!!
ええ手伝ってあげますよ!!
負けましたから私!!

……お
おう

あんた必死なんだもん
？
ほら行くよ!!
ズ
だっていっしょうがないじゃん
……
周りが見えなくなるくらい…
直線なんだもん…

馬鹿みたい

フユミンなんて
諦めちゃえば
いいのに…

どうせ
取り戻せっこ
ないのに…

自分の血も
足りないくせに。

あの子に
分けてやる事しか
考えてない……

目の前に居るのは
私なのに…

その先のあの子しか
見えてない…

そんなあんたに
両手を広げて

「私を見て」と
通せんぼして

スルーされたら……

TREASURE NOTE

馬鹿みたい
じゃない。。。

「まいった」って言うしかないじゃない…

ポン

じわっ

何かしらねぇが

悪いのは俺だ

はあ？

最近気づいたんだが…

何をするにも元はと言えば俺が悪い事が多い

だからきっとお前のテンションが変なのもきっと俺のせいなんだろうと思った

いやもし違ったとしても

俺のせいって事にしときゃいい

…何が言いたいの…

……つまりあれだ

こんな時

もし俺がマンガの主人公だったら何て言うか考えてがな

こんな時って何よ

まぁ聞けよ

それで考えたんだけど思いつかなかった

で俺はどっちかっつうと悪役の方だって結論に至った

だから何か今
慎ってる事があれば
俺にブチ撒けて
罵ってもいいぜ

全部
お前のせいだ！
ってな

ただ
謝んねぇ
けどな

悪役
だから

……

何じゃ
そら

ほら遠慮せず
言ってみろ

……

俺をすべての
元凶だと思って

はいはい

おい

俺はお前の

わかったわかった
ありがとね

ほら
行くよ

本当に元凶
なんだから

…っ何だよ
人がせっかく

何が
元凶だと思って
――！

全部
お前のせいだバ――カ

フワッ

フワッ

フワッ

高いです…
怖いです…

もうすぐだよ

は…はい
スタズさん…

実をいうと
ちょっと
おもらしを
しそうに…

いえにてないですよ

とにかく私は
今の所無事です

でも…これから
いったいどうなる
のか…

わからな…

オオ

オオ

ヒョコ

何ですかあれ…
何ですかあれ…

すごいこっち
見てますけど…
今のところ…
ぶ 無事です

ストッ

さ ついたよ

ホッ

生きた心地がしなかったですよ

幽霊か 何言ってんの

お帰りなさいませネル坊っちゃま

無事 任務を果たされた様ですな

え…

お

お

お

おめでとうございます

お父さん!?

どしたの

…あれ

？

？

その……

……

いえ…

……

実写だし 心霊もオンリレ というより 角生えちゃってるし

違う ソックスだけど

お待ちしておりました 冬実様ですね

どうぞこちらへ

何だろう でも

やっぱり…

…はい…

ちょっと雰囲気は違うのに

お父さんの背中だ…

ゴゴゴゴ

わぁ すごい

冬実様

あ！はい

こちらに部屋を用意しておりますので

しばしの間お寛ぎ下さい

あれ…

さっきの…

ネイン様の準備が出来次第お呼び致しますので…

ザアアア

14年？

そう…もうそんなになるの…

そんじゃあ
着てる物はこの
中に入れてね
え…？

あなたと
出会って……
ねえ…
ガアアアア
私今
どんな顔
してる…？

やっぱり思った通り！
姉ちゃんのサイズでピッタリ！
似合ってるよ
ベルさんもこういうの着たりするんですね。
フフッ
いや一回も着てる所見た事ないよ
え？
母さんが好きなんだよねこういうの
ダラしないカッコしてるとグチグチうるさいんだ
こんなんだから全然姉ちゃん帰って来ないしね…
あらそー？
第25話♠メガネの罪

たまには帰ってくるよ

な

ナ…。

姉ちゃん!?

何ソイツ連れて来てんだよ!

レー!!

スタズさん!

おう無事か

スタズさんこそ大丈夫なんですか!? そのシャツ…

ス…。

悪いが今お前とは他人だ

気安く声をかけるな

俺は今

ベルとラブラブ中だ

え…?

いや
違うのよ
これは…
ズ…
!!
ゴト
ドクドク
これから説明しようって時に
ややこしい言い方すんな!
ほら二人とも固まっちゃってんでしょ!!
ドクン
うっ…
撃った…
頭撃った…
ドクドク
とりあえず
これは賭けよ

私とスタズがハイドラに入ったのはもうパパに見つかってるハズ
そんな状態でスタズがフユミンを取り返しに来たなんてママにバレたらどうなるか
そりゃタダじゃ済まないよ…
それを手助けした姉ちゃんも…
だから
スタズは私の連れって事にするの
どうせあんたスタズに追われて手間とったとか報告してないんでしょ
え…そりゃまあ怒られたくないし
だったらいける
まだママがフユミンを呼んだ理由もわかってないしね
確かに仕事の時も冬実ちゃんの見た目とだいたいの場所しか知らされてなかったから
もしかしたらスタズの事母さんは知らないかもね…
それに確かめたい——

フユミンが私にとって何なのか…

あの兄貴のセリフと今回の件が繋がる気がする

だから――

遅れ帰るのは一つの用件を聞いてからでもいいでしょ

用事次第じゃその後 穏便に帰れるかもしれないしね

ムクッ

そういう事

俺もそれ気になるしな

生き返ってくれる用事だったら大歓迎だし

何で姉ちゃんがスタズのためにそこまでするんだよ！

変だよ！何か弱みでも握られてるとしか思えないし!!

…だからって

うしくないよ!!

……

どうしちゃったんだよ!!

もしかして惚れ…

ぎゃあああ

ゴゴゴゴゴ

私だって嫌よ……

こんな自分が

芝居でなら言える「なりたい関係」の提案なんて

ほら私達も着替えるよ

?

最高に私らしいわ…

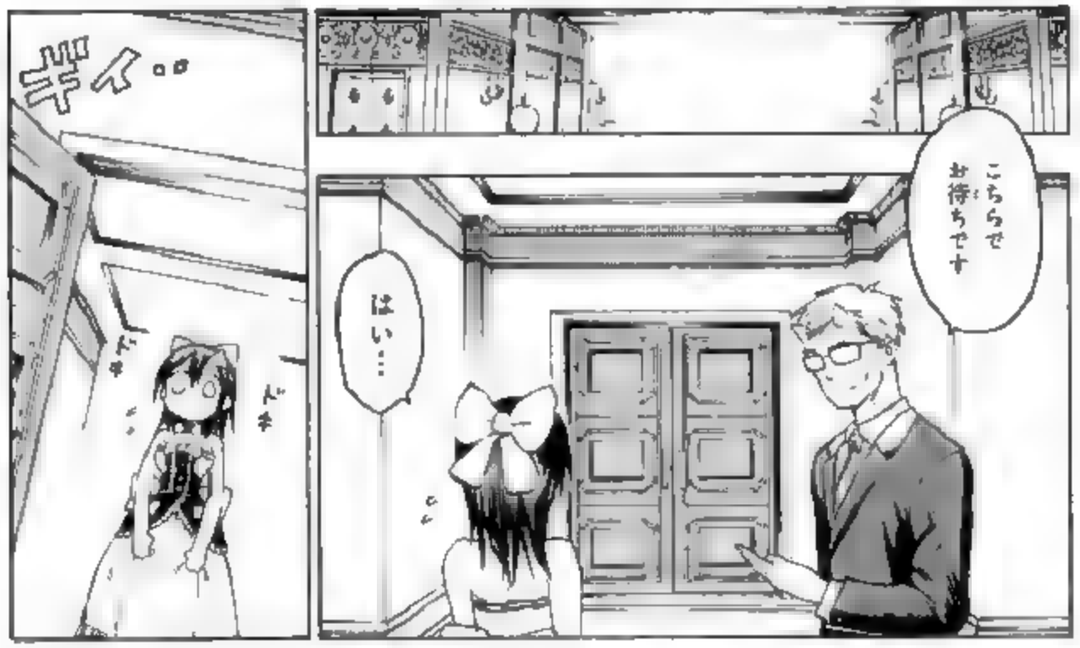
冬実様
奥様が
お呼びです
あっ
はい
コンコン

あの…じゃあ私
呼ばれたので
行ってきますね…
おい…ちょっと
待て
人で
行くのかよ
だ…大丈夫
ですよ
きっと…

俺も行く
他人なんです
よね？
……え
バタン
……
あちょっと
ショック
受けてる
バカだ

ガチャ
ちょ
バカやめなさいよ
はなせ！
一人にして
とって
食われたら
どーする!?
トラウマ
どんな想像力
してんだよ

お前等もさては
グルだな!?
とりあえず
落ちつけよ！
グルっていうか
家族だっての
追加の
お友達は
元気ですね
ハハハ
あ…あたしの
まだの
バレてるん！


ギィ…
ドキ
こちらで
お待ちです
はい…

パタン!
冬実…
冬実ね…!
冬実…
はい…!

会いたかった…
私の冬実……
怖かったでしょう…
もう大丈夫よ……

……

何を
なさってるん
ですか？

ビクッ

あ…いやぁ
このバカがとうしてる
気になるって言うんで

ペシ
ペシ

何も見え
ないっつーのに
ねー

初めまして
スタズさん

お兄様から
お話だけですが
よく伺って
おりますよ

ちょっとあんた
何言ってんの？
え？

あれ？
ご存じ無かった
ですか

……

は？

ブラッズ様と
ネイン奥様は
「メルトモ」という
関係にあらせられ
まして

よく「電子メエル」
のやり取りなんかを
しておいでですよ

まーまま
ままで
何してんのあいつ
何してんの？

よくわかんないけど
スケートはなにかの
すそ

私も

聞きたくない

ああ…
そうだ

冬実様が
魔界に居る
という情報も
たしか…

あの野郎……

マジで何考えてやがる…

ブラッド・D・ブラッズ

王の所まで運行する

何年ぶりだろうな…

ここに帰ってくるのは…

おいクソメガネ!!

何ボサッとしてんだ行くぞ

はいはい なんなりと…

ご主人様♡

パン

あ…

テメエマジ人をおちょくるのもいい加減にしねーとそのメガネ粉々にすんぞ!? あ!?

ベロス巡査

門を開けろ

メガネをかけている者にメガネの事を悪く言うのはやめたまえ

メガネに罪は無い!!

……はいすいません

ゴイル部長…

部下の非礼を詫びようブラッズ君

ナイスメガネだ

ええあなたも

ここからは僕も同行させてもらうよ

何もないとは思うが……

一応ね…

ご心配には及びませんよ

もう王には何の不満も無い

それに今はおたくの可愛い部下に拘束もされている

何かしようったって出来ませんよ…

ゴゴゴゴ

私には何も…ね

ギン…

ガーッ

お――

久しぶりだってのに

何だそのシケた面

ニッコリ笑ってナイスショット!!とか言えよ

ブラッズ

ボオ

ボオ

生憎
今は王にその様な事を言える身分にありませんので
ケッ
イヤミは言えるじゃねーか
まぁいいやお前等はずしてくれ
はっ
しかし
いーから出てけ
ほら女達もだ
えー
ブー
ガーッ
……
ほらね
大丈夫すよゴイルさん
あいつマジで何もできねーっスって
ああそれはわかってる
ただ君は気にならんのか
何がっス？
王の用事の方だ
ただ呼べと言われ連れて来たら締め出し……いったいあの男に何の話があるのか…
ソーッスねぇ…確かにちょっと気になるスけど
盗聴とか駄目っスよ
なっ当然だ!!
でもゴイルさん好きじゃないスかそういうの
違っ
それは調査のためであって趣味でやっている訳ではない!!
そうだったんスか
意外と俺を悪だと思ってるんだね!?
とにかく…
待つ間あの男の事をちょっと調べるくらいしてもいいだろう
…それは調査の方っス？
当たり前だろう…

ゴオオオン
聞こえたか？
今の
？
さっき打ったボールが
あそこにある扉に
今頃届いた
……
あの超でけぇ
扉から漏れ出てる
魔素のおかげで
俺達は生きてる
ええ…
あの扉を
管理するのが
王の仕事
お陰様で日々
快適に過ごさせて
頂いてますよ

本当に
そう思うか？
というと？
それが本当に王に
相応しい仕事だと
思うか？
っつってもただ
見てるだけなら
誰が
やっても
同じだろ
……
しかしそれが
王の仕事
です…
……
ああ…
そうだな…
どうだ
一発打って
みろ
いいんですか？
お？今度は
ノリがいいじゃ
ねぇか
いえ…
そんな純粋を
私に渡して
いいのか…
という事ですよ

ガハハハ!!
面白い冗談だ
思いっきり
ブッ飛ばせ

本気だと
したら?
よせよ
そっちの方が
笑える

下界の見張り役
ですか?
おう そうだ
それそれ
どうなんだ?

ドカッ
お前の仕事は?
どうだ?

楽しいか?

キィン
ナイスショット

ええ…
自分に合ってる
と思います

それこそ
ただ見てるだけの
仕事ですけどね…
何言ってやがる
こっちはそれで
助かってるぜ

けどその事で
ちっと気になる事が
あってな……
ズ…

何でも下で暴れてた
アキムとかいう
ガキを見つけて
ブチ込んだそうじゃ
ねぇか…
お手柄だ

この男だ

ピッ

名前は
バントマイム

極秘任務に
あたっていた
男だが…

どういう訳か
突然消息を
絶ち

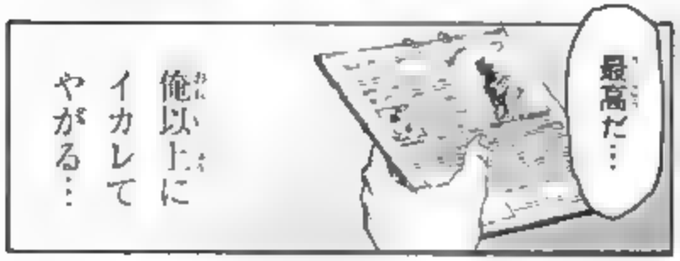
行方を暗ました

ソックリだなぁ？……

そのアキムとかいうガキによ…

どうだい？
フランケン
これが
あの男の
研究だよ

この体が
もうじき
僕の物になる
んだ…


最高だ…
俺以上に
イカレて
やがる…

ワクワク
するだろ？
あいつ…
…ああ

当然です

その二人は…

同一人物ですから

あなたももう気づいているのでしょう？

調べればすぐ解かる証拠も残しておきました

それを見てあなたは私をここに呼んだ…

確証を持って

そう…

パントマイムをあなたから奪い

アキムを造らせたのは私です…

王…これは私からあなたへの…

宣戦布告なんですよ…

私のスイングでは王には届きませんが…

近い将来届く者が現れるでしょう

♠おわり♠

To Be
Continued..

魔界に生きる ブラッズ編

ブラッドラッド

殿堂街に…

行っていい？

…また新しいマスクが欲しいのかい？

ハア…

この間買ったばかりだろう

見るだけ

たしかこの間もそう言ったね

……

今度は本当に見るだけ

生活が苦しい訳ではありませんが

駄目だ

彼はしっけを重んじます

通信教育のテストで満点を取れたら買ってやろう

……

そして条件を提示するのが好きです

わかりました…

バタン

そして…

見張るのが好きです

ピピピ

ブウン…

早速やり始めたかを確認し

良い子かどうかをチェックします

ウム

カリ

カリ

ピピピ

しかし

ここはそうじゃない

お前は本当に満点を取る気があるのか？

ほらこの問題だ

ガチャ

カリカリ

リズ

…こう？

何でそうなった

結局いつもこうなります

だって…

人を思い通りに動かす事が生きがいのような彼ですが…

唯一思い通りにいかない存在

いいか？リンゴが2つあるとするだろ…

うん…

それがリズなのかもしれません

…あと勉強する時はマスクをはずせ

やだ

新しいの買ってくれた時はずすから

では今はずさないと買ってやらないと言ったらどうする

条件がふえたから満点より低いハードルになる

…その計算が出来て何でこの問題が解けないんだ？

二人ともそれぞれ解けない難問に頭を悩ませているのでした

わかんない

だからそうじゃない

END

BOOK☆WALKER

角川コミックス・エース
ブラッドラッド(5)

著者：小玉有起

発行日：2011年12月3日
発行者：新名　新
発行所：株式会社 角川書店
©Yuuki KODAMA 2011

角川コミックス・エース
『ブラッドラッド(5)』
(2011年12月3日初版発行)に基づき制作